

※ 海外ニュース ※

ドイツ 2025年7月4日 Die Autobahn

■ 夏季の熱波 — 高速路面に試練

Hitzewellen – Stresstest für die Autobahn

近年ドイツでも夏季には気温が40°Cを超える日が珍しくなく、高速道路の路面舗装にも大きな負担となっている。既に7月上旬時点で、熱による路面損傷が各地で確認された。国内高速道路の7割超がアスファルト、残りがコンクリート舗装である。アスファルトは高温下では変形したり轍が形成されたり、タイヤグリップ性能の低下や雨天時のハイドロプレーニング現象が起こる場合がある。一方、コンクリートは熱で膨張し、特に古い舗装面ではまれに路面が持ち上がる「ブローアップ」と呼ばれる現象が起こる。そのため夏季は各維持管理事務所が路面点検頻度を増やし、最大限の安全確保に努めている。また2025年は事故等の予防策として、舗装の古い一部区間に速度制限を導入した。

イタリア 2025年7月5日 Agenzia Giornalistica Italia

■ 高速道路の通行料金の引き上げについて、政党「同盟」が改正案への署名を撤回

Rincari dei pedaggi autostradali, la Lega ritira la firma sull'emendamento

イタリアでは道路運営会社ANASの特別支出のために、2025年8月1日から高速道路の通行料金の引き上げが予定されていた。しかし、夏休みに自動車を利用する100万人の人は、不快な驚きを受けずに済んだ。自動車、オートバイ、SUVが料金所を通過する際に通行料金の引き上げが予定されていたが、政党「同盟」が改正案への署名を撤回したためである。同党は、副首相兼インフラ大臣であるマッテオ・サルヴィニ氏の指示に従った形である。

米国 2025年7月6日 Peoria Times

■ アリゾナ州の交通局が5カ年建設プログラムを承認

ADOT OKs 5-year construction program

ウェストバレーの複数の道路、橋、幹線道路は、先月末に州交通委員会により承認された2026～2030年の5カ年交通施設建設プログラムの一環として改良される予定である。このアリゾナ州の交通局による115億ドルのプログラムでは、アリゾナ都市圏全体の複数の主要幹線道路の拡張が強調されている。同交通局は「これらのプロジェクトにより、交差点の改善、通関手続き施設や休憩エリアのアップデート、スマート技術、新しい信号、標識、路肩といった幹線道路の安全性、効率性、機能性の向上が見込まれる」と報道発表で述べている。

フランス 2025年7月8日 Eiffage

■ エファージュ・ルート社は、より環境にやさしい道路建設のためにロワール県のペルーにて植物由来の道路材料のLEAを製造する工場を開設

Eiffage Route inaugure son usine LEA, à Perreux (42), pour des routes plus vertes

道路材料の産業開発のプロセスの中で、植物由来の接着剤の製造は少量に限定されていた。今回、オーベルニュ・ローヌ・アルプの支援を受けて建設された新しい工場は、工業品としてのLEA製造に初めて成功する見通しである。これにより、より環境にやさしい道路材料の製造工場が開設され、植物由来の道路材料の接着剤が従来の道路塗装の材料であるビチューメンの代わりに使用されることになる。製造時の温度を低下させて、二酸化炭素の排出を抑制する効果が期待される。

英国 2025年7月9日 Construction Index

■ ネン川高架橋における伸縮継ぎ手のイノベーション

Expansion joint innovation on River Nene viaduct

National Highwaysは、これまで英国で使用されてこなかったスイス製の新種の伸縮継ぎ手の使用を認可した。A14号線のジャンクション12～13間のネン川高架橋の大型伸縮継ぎ手は、耐用年数を過ぎて取替えの必要があった。新型継ぎ手は、騒音を低減し、将来の整備を容易にし、修理が行われている間も運転者が道路を利用できる

ように設計されている。この新たな伸縮継ぎ手の特徴の1つは簡易脱着システムで、必要であれば一晩で交換が可能で、交通の混乱を大きく軽減できる。また、騒音低減プレートにより、路上を走る車が引き起こす騒音を弱めることもできる。

英国 2025年7月9日 Highways Magazine

■ そして彼女は奪い取る：英運輸大臣が10億ポンド超の構想を中止

And she taketh away: Transport secretary axes road schemes worth over £1 bn

第三次道路投資戦略の下、現在5つの戦略的路網構想が進展するとみられているなか、運輸省が継続している28の地方構想については既に成立済みであった。そんな中、アレクサンダー運輸大臣は、一組の重要な構想を早急に取り下げたこと、取り下げはさらなる検討の後増える可能性があることを示唆し、前政権が財政上の「ブラックホール」を作り出したとして非難を加えている。「前政権は手頃でもなく実現可能でもない大型地方構想や路網プロジェクトに何年もかけ計画を立ててきた。これを継続することはできない」と大臣は述べている。

米国 2025年7月9日 ITS International

■ 通行料徴収において今こそビーグル・ツー・エブリシングの時代

Now is the time for V2X in tolling

北米では現在、通行料の徴収について徴収機関・運営業者が従来の電子トランスポンダーやビデオ徴収によって実施している。フロリダ州のターンパイク・エンタープライズとインドラ、アウディ、ケアルコム・テクノロジーズの各社は、車両を道路脇インフラに接続する直接低遅延セルラー・ビーグル・ツー・エブリシング技術を用いた次世代型通行料支払いの実証実験を行った。この実証実験の重要な成果は、運用コストの削減、効率的で速くて確実な通行料の徴収、既知のユーザー集団の拡大、ユーザー体験の向上といった通行料徴収コミュニティにおける同技術の運用上の利点を立証したことである。

米国 2025年7月9日 Oregon Public Broadcasting

■ オレゴン州がフッドリバー・ホワイトサーモン橋を建て替えるため、ワシントン州の1億2,500万ドルとマッチング

Oregon matches Washington's \$125M to replace Hood River-White Salmon Bridge

オレゴン州議会は、先週、築100年のフッドリバー・ホワイトサーモン橋を建て替えるため、ワシントン州の1億2,500万ドルの公約に対するマッチングファンドを承認した。合計すると、この州資金はプロジェクトの推定費用11億2,000万ドルの約1/4を負担することになる。現行の提案では、既存の橋（狭く、鋼製デッキを有する）は、現代の交通需要や安全基準を満たすべく設計された構造物へ建て替えられることとなっている。新たな橋の設計は9月に開始するとみられており、2030年の開通を目指している。

米国 2025年7月14日 WUNC

■ ノース・カロライナ州がキャピタル・ブルバード等の道路改修へ資金提供するのに苦労する中、通行料は打開案となるのか？

As NC struggles to fund road upgrades like Capital Boulevard, are tolls the answer?

道路建設のコストが急騰しており、ノース・カロライナ州で幹線道路の拡張に大きな遅れが生じている。これにより、州の交通局はプロジェクトへの支払いのため通行料徴収を検討するよう迫られているが、このアプローチは州議会で反対を受ける可能性がある。数十年の間、州の交通当局は州間高速道路540号線～ウェイク・フォレストの区間を幹線道路に転換する計画を立ててきた。このプロジェクトは元々2018年に開始する予定であったが、計画段階で何度も反対を受け、場合によっては2030年代まで待つ必要がある。

英国 2025年7月16日 Highways Magazine

■ WJが「瞬間硬化」冷間塗布マーキングを発表

WJ launches 'instant-cure' cold applied marking

WJグループは、ラピッドラインという製品について、冷間塗布ラインマーキングにおける大きな変化を生むソリューションとして、瞬間硬化をもたらすUV硬化材であると説明している。同グループのCEOは「当社は

ラピッドラインで供給速度を速め、交通への影響を減らす最新のソリューションを提供します。またこの製品は、多くの自治体が直面するさまざまな課題、すなわち安全性、持続可能性、投資利益率に応えるため開発されています」と述べている。また同グループはここ1年でラピッドラインを試験、改良しており、独立検査により高レベルの視認性・格別な耐久性が示されたとしている。

英国 2025年7月16日 Global Highways

■ スカンスカ社に1億5,300万ポンドのイースト・アングリア道路契約

£153 million East Anglia road deal for Skanska

スカンスカ社は、イースト・アングリアにあるA47号線シックソーンジャンクションを改善すべく、英国のNational Highwaysから1億5,300万ポンドの契約を結んだ。このプロジェクトでメインとなるのは2本の新たな高架下道路で、北行きA11号線を東行きA47号線へつなぐ1.6kmの新規連絡道路の建設である。同社は設計企業のスウェコ社と緊密に連携しており、これには新たな5つの構造物の建設計画が含まれている。スカンスカ社によると、この改修により交通の流れが改善し、宅地・商業開発の計画促進に必要なものとなるとしている。

英国 2025年7月16日 Traffic Technology Today

■ 英国でA14号線の停滞を防ぐため新しいブリッジプレートを設置

UK installs all-new bridging plates to avoid A14 disruptions

英国ノーサンプトンシャー州ではA14号線ネン川高架橋に導入される工学技術により、大規模修理計画の進行中に自動車運転者が継続して道路を利用できることになる。このノーサンプトンシャー州高架橋の大型伸縮継ぎ手は、耐用年数を超えていたため取替えの必要があるが、取替え作業には3カ月間かかるとみられる。道路を可能な限り供用させておくため、掘削エリアにかかるようにブリッジプレートが設置され、夜間作業に対しては通行できるように持ち上げられ、昼間の交通流に対しては降ろされることになる。

フランス 2025年7月21日 Vinci

■ ヴァンシ社は、オーストラリアで3件の建設契約を獲得

VINCI remporte trois contrats de construction en Australie

今回、ヴァンシ社がオーストラリアで締結した建設受注契約は、①ゴールドコーストのクーメラ・コネクターの南部区域の建設（クイーンズランド）、②モートン・ベイの橋の建設と道路修繕（クイーンズランド）、③シドニーの高速道路M5 クエストの延長工事の立案・建設工事の受注（ヌヴェル・ガル・デュ・ス）である。ヴァンシ社にとってこれら3件の総受注額は、4億3,100万ユーロに達する。工事を実施するのは、オーストラリアにおける同子会社のセイムール・ホワイト社である。

米国 2025年7月21日 CBS News

■ 80号線有料エクスプレスレーンが年末までにソラノ郡で正式に開通の見通し

Interstate 80 express toll lanes could officially launch in Solano County before year's end

カリフォルニア州交通局のプロジェクトは最終段階にあり、早ければ12月にもバカビルの505号線インターチェンジ～フェアフィールド間の双方向で、州間高速道路80号線上に新たなファストラックエクスプレスレーンが開通することになっている。6月下旬、交通局はバカビルでエクスプレスレーンの建設を完了したが、これがフェアフィールドまで延長しており、既存のHOVレーンがエクスプレスレーンへと転換されている。また同時に交通局は80号線エクスプレスレーン運用開始まで、当該レーンを一時的なカープールまたはHOVレーンとして開放する。

ドイツ 2025年7月22日 Verkehrsrundschau

■ アウトバーン社が2025年度橋梁改修工事向けに多額の追加予算を獲得

Autobahn GmbH erhält Millionen für Brückensanierung 2025

ドイツ連邦交通省は、7月中旬、連邦議会予算委員会に約4億5,000万ユーロの追加支出を申請した。その目的は各地のインフラ改修工事を早急に実施することである。アウトバーン社はこの財政援助によって、緊急に必要な橋梁・道路の改修工事を実施し、これ以上の遅延と改修待ち施設の増加を防ぐとしている。今回の申請は、

インフラ・環境保護の特別予算がこれまで未承認で、インフラ事業の遅延が懸念されるために行われたもので、委員会の承認は7月末の予定。その後さらにアウトバーン社用に7億900万ユーロの追加予算承認が予定されている。これは同社が資金不足により中断を余儀なくされている2025年インフラ事業の公募を再開するための予算である。

スペイン 2025年7月22日 EL PAÍS

■ スペイン国民党、スペイン社会労働者党、および政党 VOX は、2040 年までに 10 億ユーロ以上の節約のために高速道路 M-30 の市営化を承認

PP, PSOE y Vox aprueban la remunicipalización de la M-30 para ahorrar más de mil millones hasta 2040

高速道路 M-30 は、2005 年に成立した複合企業体による間接運営モデルから、100% 市営の会社による運営へと移行する。これにより、2026 年から 2040 年の間に 10 億ユーロ以上の節約が達成され、マドリード市にとっても追加の支出は発生しないとのことである。複合企業体による間接運営モデルの際は、マドリード市は全株式の 80% を保有していたのが、今回の市営化への移行で 100% 保有となり、効率化と持続可能性の向上を図る目的がうかがえる。

米国 2025年7月24日 Lane

■ レーン社が 75 号線改善契約でフロリダにおける存在感を強める

Lane Strengthens Presence in Florida with I-75 Improvements Contract

重土木建設サービスの大手企業でありウイビルド・グループの米子会社であるレーン・コンストラクション社は、フロリダ州マリオン郡において州道 200 号線～326 号線間で州間高速道路 75 号線を改善する契約を結んだ。作業内容は、州道 200 号線～326 号線間の州間高速道路 75 号線上のインターチェンジ間の補助車線、橋梁架け替え、切削オーバーレイ、防音壁、49 番通りの新規インターチェンジ、州道 40 号線および 326 号線へのインターチェンジ改修をもたらす改善である。工事は 2026 年初頭に開始し、完了まで 3 年を要する予定となっている。

フランス 2025年7月28日 franceinfo

■ 「安全上の極めて重要な改良」：死者を出した火災事故から 20 年を経た今年、フレジュスで 2 本目のトンネルが開通

“Une amélioration très importante de la sécurité” : le second tube du tunnel du Fréjus inauguré, 20 ans après un incendie mortel

2025 年 7 月 28 日、フランスとイタリアとを結ぶフレジュスのトンネルの 2 本目のトンネルが開通した。フランスとイタリアのそれぞれの運輸交通大臣が死亡事故から 20 年を経て、2 本目のトンネルの開通を宣言した。かつては対面通行であったが、2 本目のトンネル開通にあたり一方向のみの通行が可能になり、安全性がより強化されることになった。トンネルは直径 8 m で、長さが 12.9km になる。

イタリア 2025年7月29日 Anas SpA

■ ANAS 社、ドイツの高速道路運営会社と戦略的な協力関係へとスタートを切る

ANAS: AL VIA COLLABORAZIONE STRATEGICA CON LE AUTOSTRADE TEDESCHE

ドイツの高速道路を運営するアウトバーン社は、イタリア国営道路会社の ANAS 社の安全に関する技術ノウハウに関心を持っている。デジタルストリートとさらなる技術革新を通じてのみ、欧州連合で規定された安全上の目標を達成できるという指摘もある。2030 年から 2050 年の間に、交通事故による死者者数を減少させ、最終的にゼロにするのが両社の当面の目標である。道路インフラのデジタル化でデジタル・モニタリングを可能にすることが課題となっている。